

「薬物乱用防止に関する調査」の結果について

1. 調査の概要

近年、30 歳未満の若年層による大麻の乱用の拡大が問題となっており、薬物乱用防止のためにより一層の薬物乱用防止啓発が求められています。

このため、厚生労働省では、若年層に対する広報啓発活動をより効果的なものとするため、若年層を対象に、薬物の心身への影響に関する理解度や、薬物乱用防止のための広報啓発の在り方に関する意見等について、アンケート調査を実施しました。

2. 調査対象等

- ・ 調査対象者：日本全国の 18 歳から 29 歳までの男女
- ・ サンプル数：500 名
- ・ 調査期間：令和 8 年 8 月 28 日（金）から同年 8 月 31 日（月）まで
- ・ 調査手法：インターネット調査

3. 調査結果

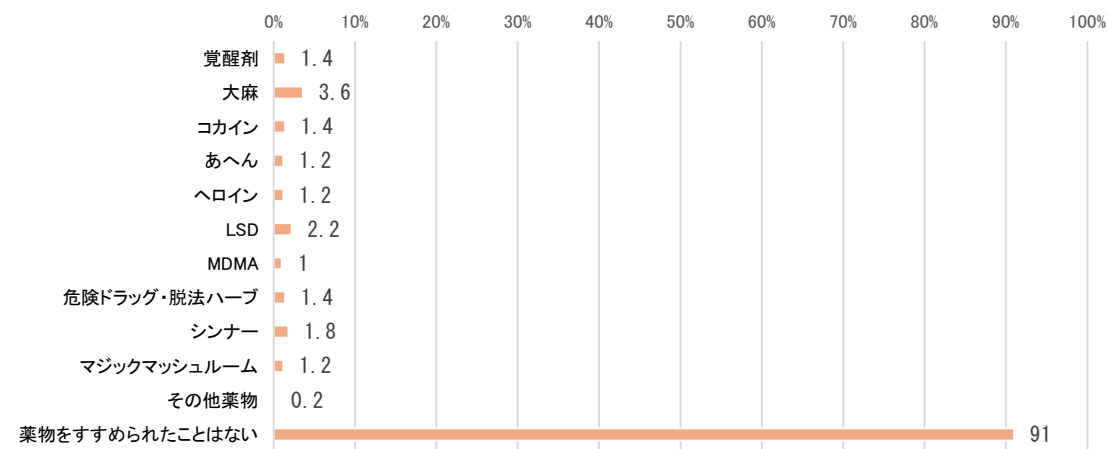
【結果のポイント】

以下のとおり、多数の方が、薬物乱用は心身に悪影響がある、大麻には依存性があるなど、正しい認識を持っていることがわかった。

- ・ 回答者の約 9 割が、薬物乱用は心身への悪影響があるとの認識を有していると回答
- ・ 回答者の約 7 割が、大麻に依存性があるとの認識を有していると回答
- ・ 回答者の約 8 割が、家族や友人が大麻を使っていたら「止める」と回答

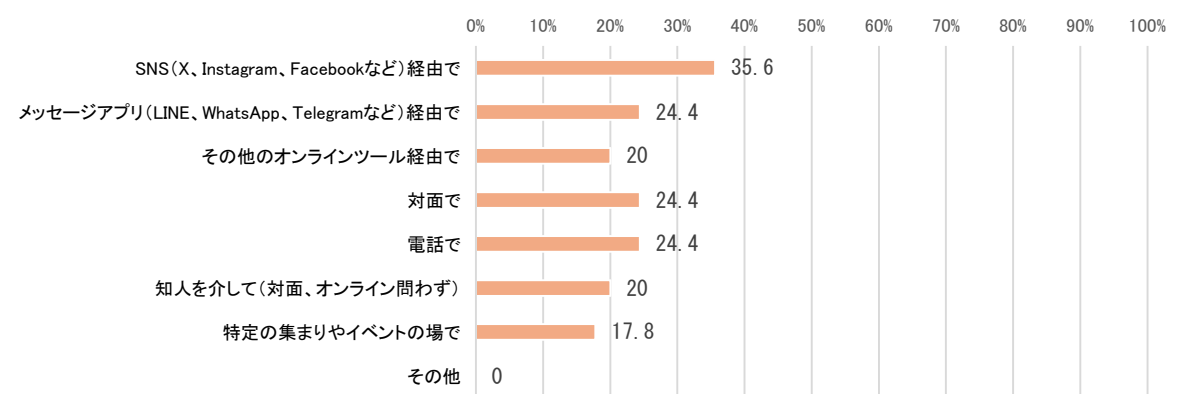
各設問及びその結果は以下のとおりです。

Q 1. 薬物をすすめられた経験はありますか？ある場合は、すすめられた経験のある薬物の名称をお答えください。（複数回答可。N＝500）



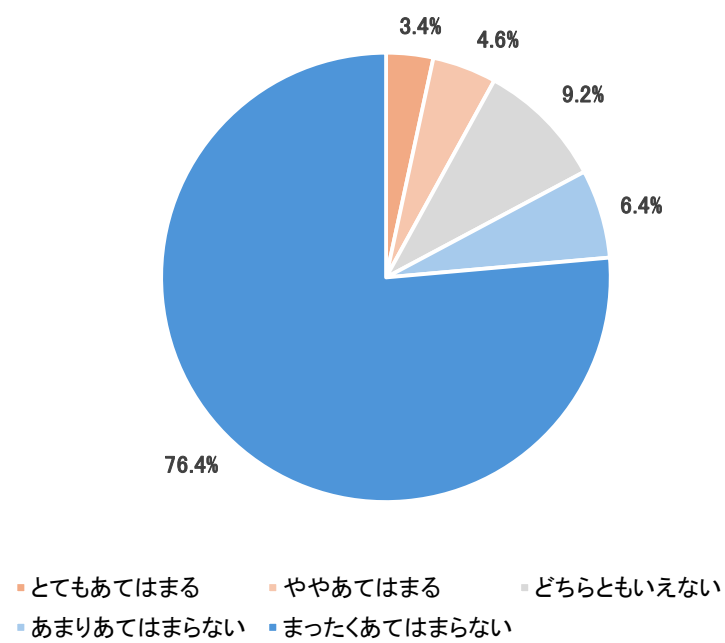
	n	%
覚醒剤	7	1.4
大麻	18	3.6
コカイン	7	1.4
あへん	6	1.2
ヘロイン	6	1.2
LSD	11	2.2
MDMA	5	1.0
危険ドラッグ・脱法ハーブ	7	1.4
シンナー	9	1.8
マジックマッシュルーム	6	1.2
その他薬物	1	0.2
薬物をすすめられたことはない	455	91.0

Q 2. (Q 1で薬物をすすめられた経験があると回答した方に限る) どんな手段ですすすめられましたか？ (複数回答可。N=17)



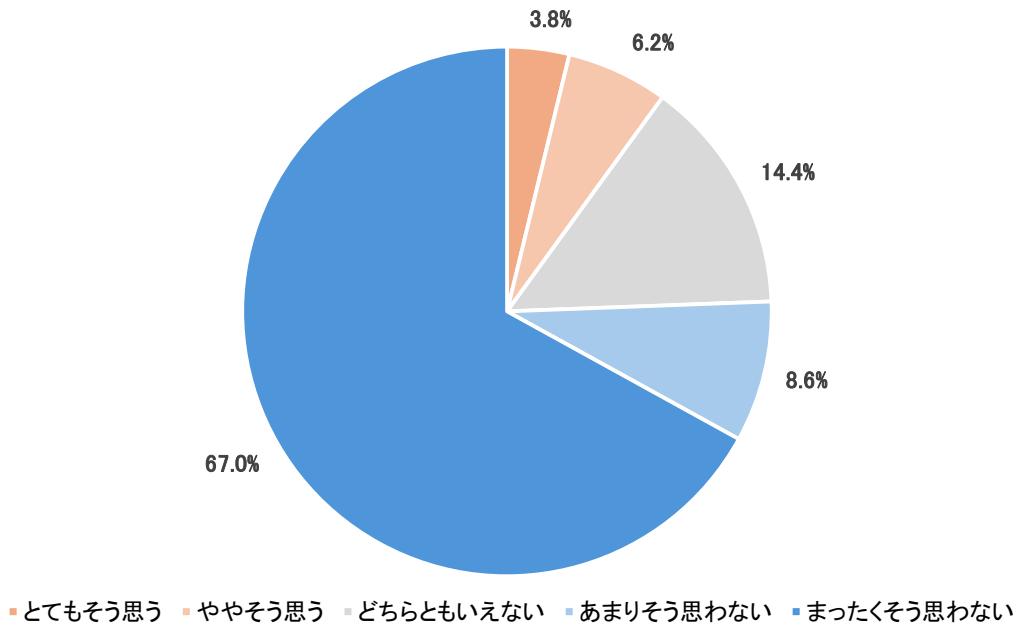
	n	%
SNS (X, Instagram, Facebook など) 経由で	16	35.6
メッセージアプリ (LINE, WhatsApp, Telegram など) 経由で	11	24.4
その他のオンラインツール (匿名掲示板、出会い系サイト、ゲーム内チャットなど) 経由で	9	20.0
対面で	11	24.4
電話で	11	24.4
知人を介して (対面、オンライン問わず)	9	20.0
特定の集まりやイベントの場で	8	17.8
その他	0	0.0

Q 3. あなたは大麻などの薬物を入手しやすい環境にあると思いますか？ (N=500)



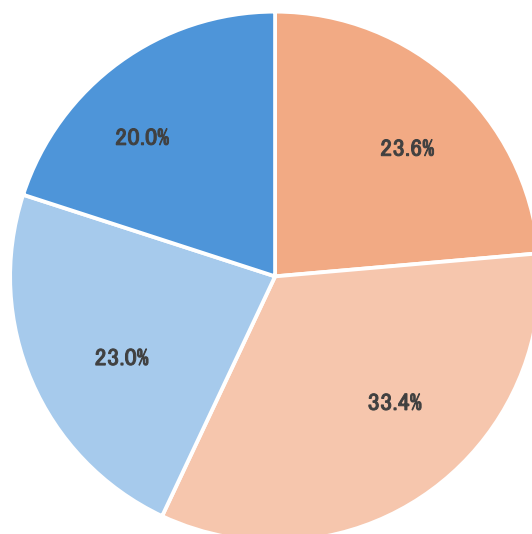
	n	%
とてもあてはまる	17	3.4
ややあてはまる	23	4.6
どちらともいえない	46	9.2
あまりあてはまらない	32	6.4
まったくあてはまらない	382	76.4

Q 4. あなたは大麻などの薬物は悪いものではないと思いますか？（N＝500）



	n	%
とてもそう思う	19	3.8
ややそう思わない	31	6.2
どちらともいえない	72	14.4
あまりそう思わない	43	8.6
まったくそう思わない	335	67

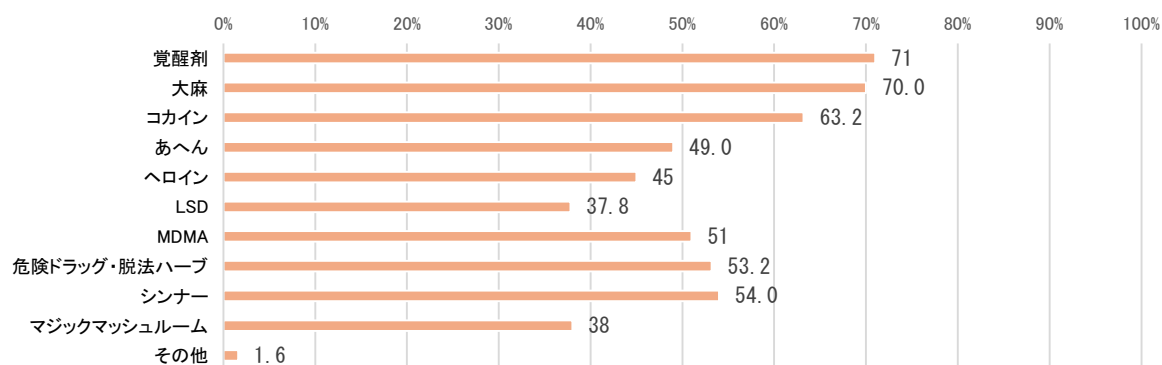
Q 5. 薬物によって依存性に違いがあることをご存知ですか？（N=500）



よく知っている なんとなく知っている 詳しくは知らない 全く知らない

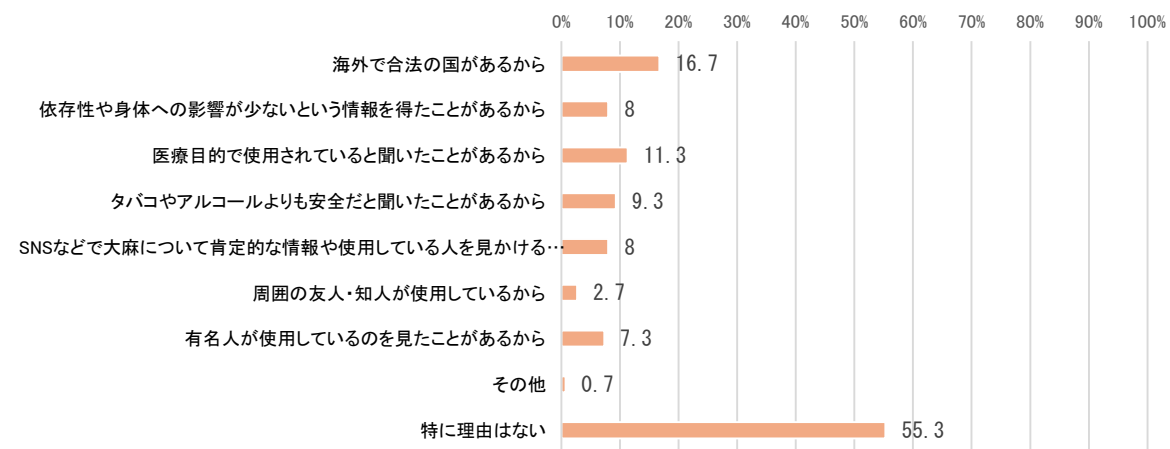
	n	%
よく知っている	99	19.8
なんとなく知っている	165	33.0
詳しくは知らない	105	21.0
全く知らない	131	26.2

Q 6. 依存性があると思う違法薬物を教えてください。（複数回答可。N=500）



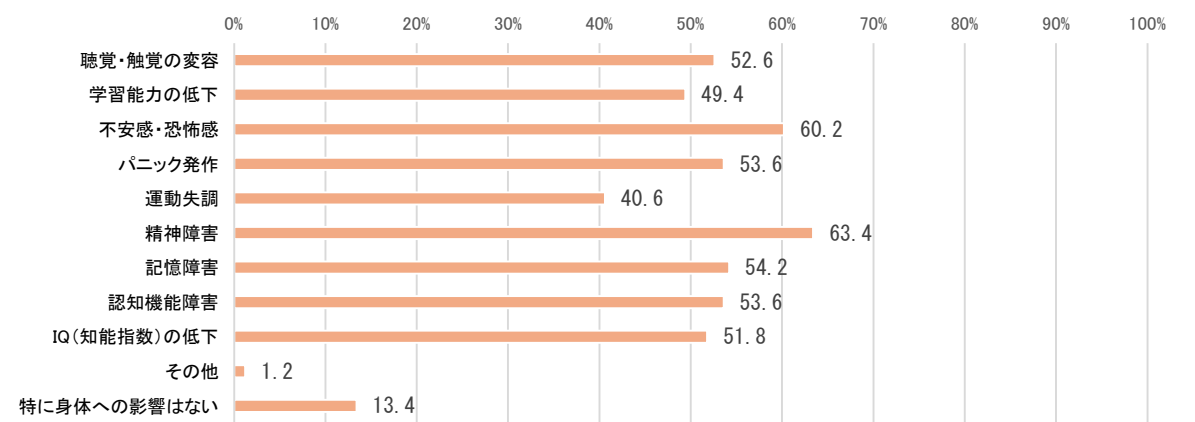
	n	%
覚醒剤	355	71.0
大麻	350	70.0
コカイン	316	63.2
あへん	245	49.0
ヘロイン	225	45.0
LSD	189	37.8
MDMA	255	51.0
危険ドラッグ・脱法ハーブ	266	53.2
シンナー	270	54.0
マジックマッシュルーム	190	38.0
その他	8	1.6

Q 7. (Q 6で「大麻」を選択しなかった方に限る) 大麻に依存性がない(または低い)と考える理由として、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可。N=150)



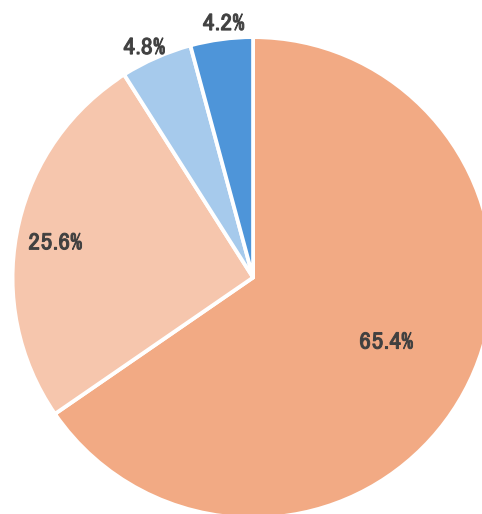
	n	%
海外で合法の国があるから	25	16.7
依存性や身体への影響が少ないという情報を得たことがあるから	12	8.0
医療目的で使用されていると聞いたことがあるから	17	11.3
タバコやアルコールよりも安全だと聞いたことがあるから	14	9.3
SNSなどで大麻について肯定的な情報や使用している人を見かけるから	12	8.0
周囲の友人・知人が使用しているから	4	2.7
有名人が使用しているのを見たことがあるから	11	7.3
その他	1	0.7
特に理由はない	83	55.3

Q 8. 大麻を乱用したり、長期的に使用したりすることによって引き起こされる心身への悪影響として、あなたが考えられるものをすべてお選びください。
(複数回答可。N＝500)



	n	%
聴覚・触覚の変容	263	52.6
学習能力の低下	247	49.4
不安感・恐怖感	301	60.2
パニック発作	268	53.6
運動失調	203	40.6
精神障害	317	63.4
記憶障害	271	54.2
認知機能障害	268	53.6
IQ（知能指数）の低下	259	51.8
その他	6	1.2
特に身体への影響はない	67	13.4

Q 9. 大麻をすすめられた場合、使用を断れる自信はありますか？（N＝500）



■ 絶対に断れる ■ 多分断れる ■ 多分断れない ■ 断る自信がない

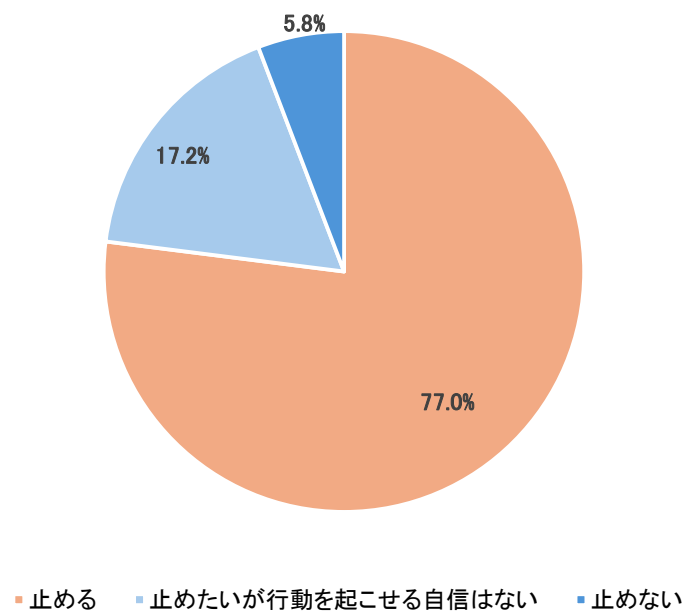
	n	%
絶対に断れる	327	65.4
多分断れる	128	25.6
多分断れない	24	4.8
断る自信がない	21	4.2

Q10.（Q 9で「多分断れない」又は「断る自信がない」と回答した方に限る）その理由を教えてください。（自由記載）

【回答（抜粋）】

- ・ 知り合いからの強い頼み込みだと逃げられなさそう。
- ・ 流されやすい性格だから
- ・ 人間環境に影響がありそうだから
- ・ シンプルに断るのが苦手
- ・ 押しに弱い

Q11. 友人・家族・恋人など身近な人が大麻を使用しているとしたら、止めますか？
(N=500)



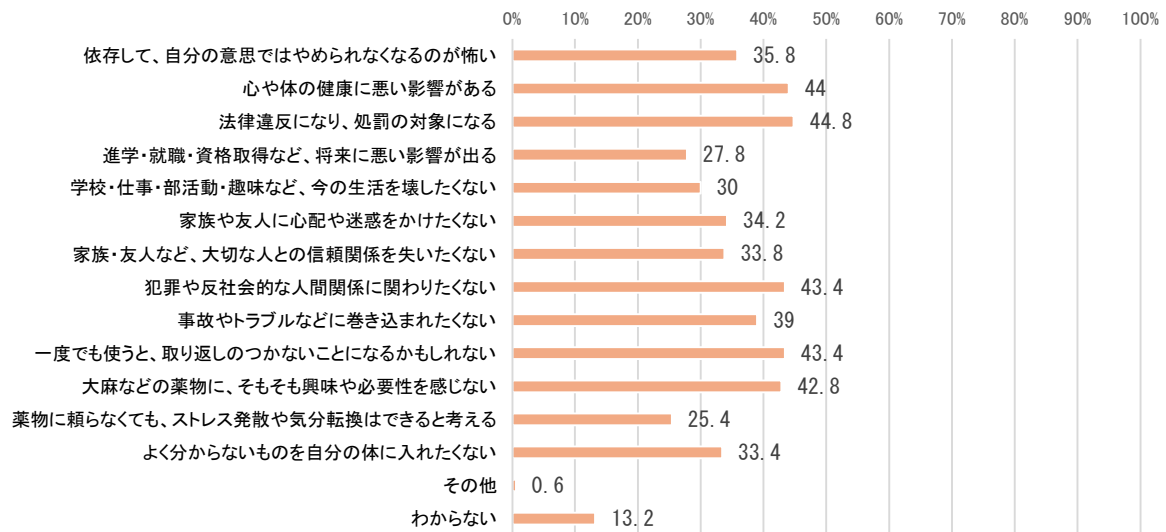
	n	%
止める	385	77.0
止めたいが行動を起こせる自信はない	86	17.2
止めない	29	5.8

Q12. (Q11で「止めたいが行動を起こせる自信はない」又は「止めない」と回答した方に限る) その理由を教えてください。(自由記載)

【主な回答】

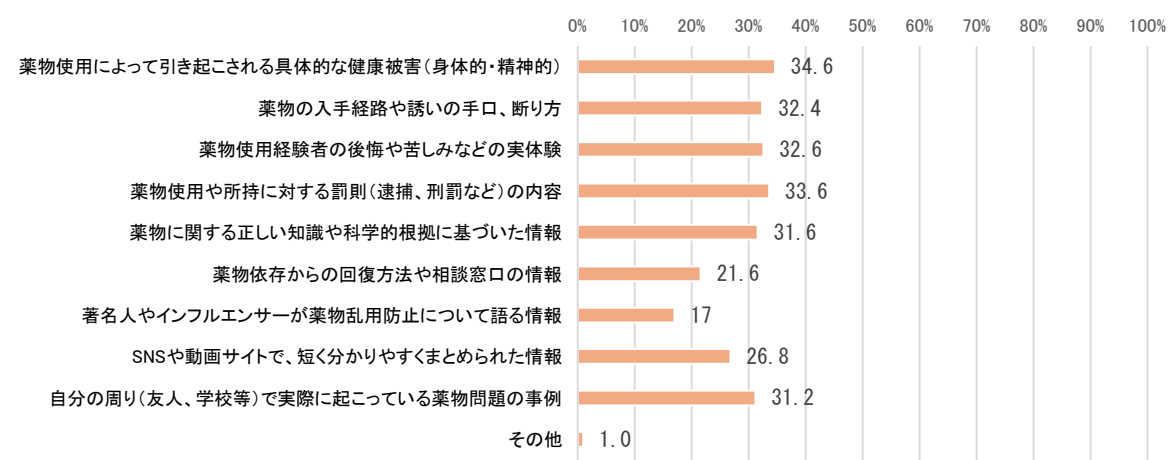
- ・ 本人にしか気持ちはわからないからなんともいえない
- ・ 自信ない
- ・ 立場が上の人に対しては言い切れない可能性があるから
- ・ 友達には強く言えない
- ・ その時になってみないと分からない
- ・ わからないことが多いから

Q13. 一般的な考えとして、「大麻などの薬物を使用しない」のは、どのような考えからだ
 と思いますか？（複数回答可。N＝500）



	n	%
依存して、自分の意思ではやめられなくなるのが怖い	179	35.8
心や体の健康に悪い影響がある	220	44.0
法律違反になり、処罰の対象になる	224	44.8
進学・就職・資格取得など、将来に悪い影響が出る	139	27.8
学校・仕事・部活動・趣味など、今の生活を壊したくない	150	30.0
家族や友人に心配や迷惑をかけたくない	171	34.2
家族・友人など、大切な人との信頼関係を失いたくない	169	33.8
犯罪や反社会的な人間関係に関わりたくない	217	43.4
事故やトラブルなどに巻き込まれたくない	195	39.0
一度でも使うと、取り返しのつかないことになるかもしれない	217	43.4
大麻などの薬物に、そもそも興味や必要性を感じない	214	42.8
薬物に頼らなくても、ストレス発散や気分転換はできると考える	127	25.4
よく分からないものを自分の体に入れたくない	167	33.4
その他	3	0.6
わからない	66	13.2

Q14. もしあなたが薬物乱用防止に関する情報に触れる機会があったとしたら、特にどのような情報であれば、あなたの関心を引き、行動を考えるきっかけになるとおもいますか？
あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答可。N＝500）



	n	%
薬物使用によって引き起こされる具体的な健康被害（身体的・精神的）	173	34.6
薬物の入手経路や誘いの手口、断り方	162	32.4
薬物使用経験者の後悔や苦しみなどの実体験	163	32.6
薬物使用や所持に対する罰則（逮捕、刑罰など）の内容	168	33.6
薬物に関する正しい知識や科学的根拠に基づいた情報	158	31.6
薬物依存からの回復方法や相談窓口の情報	108	21.6
著名人やインフルエンサーが薬物乱用防止について語る情報	85	17.0
SNS や動画サイトで、短く分かりやすくまとめられた情報	134	26.8
自分の周り（友人、学校、地域など）で実際に起きている薬物問題の事例	156	31.2
その他	5	1.0